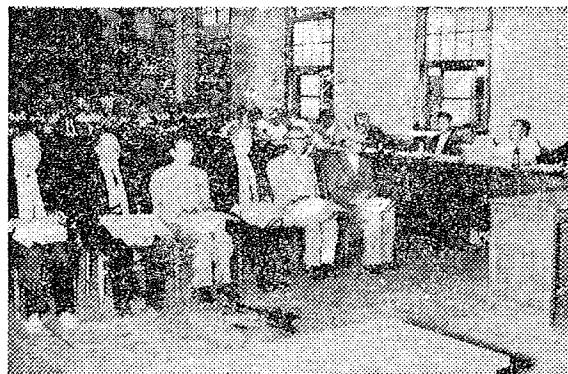


追加予算 1 億 8 千万円は可決

（參照をもとめる）
一般会計の歳出
では、減額が約三千八百四十一億六千四百
万円であるが、そ
の追加の主なるものは、二十九年度
の赤字約一億六千
万円（決算上の赤



六月定例市議会

発行所	長岡市役所
新潟県長岡市大手通2	(電話3200)
人口の動き	(7月1日現在)
世帯数	25,250
人口	130,728
男	64,074
女	66,654
6月中の受配件数	
出生	170 死亡 95
転入	242 転出 403
婚姻	85 离婚 7

皆勤議員七

【写眞は表彰された市議員】
去る六月二十七日、定期市議会の開会に先だつて、昭和二十一年五月からこの年の四月まで満四年間、次の方々の表彰が行されました。

山田笑義、柳沢石藏、川島惣松
中村新治、佐藤正巳、藤井圓三
一、長部新一郎（敬称略）頃年

（不同）

とを否決す。
⑭知事の諮問一号は新しい都市計
画によつて、長岡市（第二区）の
町の区域や名称を変更しますとす
るのであるが、審議を続行さし

水武治長・部新一郎・近藤平八郎・
山田実義・大森茂樹・安藤栄吉
宗厚生委員会・◎渡辺英・○安藤任左衛門・
吉黒川源・瀧川義・佐藤任左衛門・
橋松・渡辺正一・大森茂樹・闇勇
次・渡辺猛夫

「当地区は山内の西北端にあり、南北原と三島郡に接し、ほとんどが信濃川の西岸にあって、(一部は東岸にあって黒森地区に接する)南北約五・五キ、東西一・五キ、面積十一・四平方キロメートルあります。市の中央から城山橋を経て約七・八キの地点が地区的中央で、ここに支所があり、バスで長岡駅が約三千分を要します。

この地区は第三期間に属し、海拔十六ないし十八尺の平坦地であり、町内数八、世帯数三百八十四戸、人口二千五百六十人を有し、地籍は田五百三十大町、畠九十一町、原野三十町、宅地三十二町余りで、おむね長方形をなしています。なお信濃川流域の新地は、慈虫の有毒地であります。

南北朝時代に新田氏の一族大庭氏

領有したもののはうで、その城趾に
を「鷹の腰」と呼び、明治維新後
で松の大木が生え繁っていました。
成田戦争の戰火は、この地にもお
よび、伐採してからくり火に用いた
と伝えられ、明治の後期に有志に
よの碑を刻み、昔を偲ぶことができます。
時代は堀氏、齊藤時代の初期には
於平忠輝の領となり、元和四年牧
野忠茂が長岡へ移封されてから、
廢藩までその領となつておらまし
た。

年齡別住民登錄人口調

明治前年の市の年

年	生れ入四人	齡別人口集計なる
明治	4	595
	2	516
	3	473
	4	518
	5	691
	6	682
	7	681
	8	725
	9	926
	10	142
	11	227
	12	199
	13	327
	14	258
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
	31	
	32	
	33	
	34	
	35	
	36	
	37	
	38	
	39	
	40	
	41	
	42	
	43	
	44	
	45	
	46	
	47	
	48	
	49	
	50	
	51	
	52	
	53	
	54	
	55	
	56	
	57	
	58	
	59	
	60	
	61	
	62	
	63	
	64	
	65	
	66	
	67	
	68	
	69	
	70	
	71	
	72	
	73	
	74	
	75	
	76	
	77	
	78	
	79	
	80	
	81	
	82	
	83	
	84	
	85	
	86	
	87	
	88	
	89	
	90	
	91	
	92	
	93	
	94	
	95	
	96	
	97	
	98	
	99	
	100	
	101	
	102	
	103	
	104	
	105	
	106	
	107	
	108	
	109	
	110	
	111	
	112	
	113	
	114	
	115	
	116	
	117	
	118	
	119	
	120	
	121	
	122	
	123	
	124	
	125	
	126	
	127	
	128	
	129	
	130	
	131	
	132	
	133	
	134	
	135	
	136	
	137	
	138	
	139	
	140	
	141	
	142	
	143	
	144	
	145	
	146	
	147	
	148	
	149	
	150	
	151	
	152	
	153	
	154	
	155	
	156	
	157	
	158	
	159	
	160	
	161	
	162	
	163	
	164	
	165	
	166	
	167	
	168	
	169	
	170	
	171	
	172	
	173	
	174	
	175	
	176	
	177	
	178	
	179	
	180	
	181	
	182	
	183	
	184	
	185	
	186	
	187	
	188	
	189	
	190	
	191	
	192	
	193	
	194	
	195	
	196	
	197	
	198	
	199	
	200	
	201	
	202	
	203	
	204	
	205	
	206	
	207	
	208	
	209	
	210	
	211	
	212	
	213	
	214	
	215	
	216	
	217	
	218	
	219	
	220	
	221	
	222	
	223	
	224	
	225	
	226	
	227	
	228	
	229	
	230	
	231	
	232	
	233	
	234	
	235	
	236	
	237	
	238	
	239	
	240	
	241	
	242	
	243	
	244	
	245	
	246	
	247	
	248	
	249	
	250	
	251	
	252	
	253	
	254	
	255	
	256	
	257	
	258	
	259	
	260	
	261	
	262	
	263	
	264	
	265	
	266	
	267	
	268	
	269	
	270	
	271	
	272	
	273	
	274	
	275	
	276	
	277	
	278	
	279	
	280	
	281	
	282	
	283	
	284	
	285	
	286	
	287	
	288	
	289	
	290	
	291	
	292	
	293	
	294	
	295	
	296	
	297	
	298	
	299	
	300	
	301	
	302	
	303	
	304	
	305	
	306	
	307	
	308	
	309	
	310	
	311	
	312	
	313	
	314	
	315	
	316	
	317	
	318	
	319	
	320	
	321	
	322	
	323	
	324	
	325	
	326	
	327	
	328	
	329	
	330	
	331	
	332	
	333	
	334	
	335	
	336	
	337	
	338	
	339	
	340	
	341	
	342	
	343	
	344	
	345	
	346	
	347	
	348	
	349	
	350	
	351	
	352	
	353	
	354	
	355	
	356	
	357	
	358	
	359	
	360	
	361	
	362	
	363	
	364	
	365	
	366	
	367	
	368	
	369	
	370	
	371	
	372	
	373	
	374	
	375	
	376	
	377	
	378	
	379	
	380	
	381	
	382	
	383	
	384	
	385	
	386	
	387	
	388	
	389	
	390	
	391	
	392	
	393	
	394	
	395	
	396	
	397	
	398	
	399	
	400	
	401	
	402	
	403	
	404	
	405	
	406	
	407	
	408	
	409	
	410	
	411	
	412	
	413	
	414	
	415	
	416	
	417	
	418	
	419	
	420	
	421	
	422	
	423	
	424	
	425	
	426	
	427	
	428	
	429	
	430	
	431	
	432	
	433	
	434	
	435	
	436	
	437	
	438	
	439	
	440	
	441	
	442	
	443	
	444	
	445	
	446	
	447	
	448	
	449	
	450	
	451	
	452	
	453	
	454	
	455	
	456	
	457	
	458	
	459	
	460	
	461	
	462	
	463	
	464	
	465	
	466	
	467	
	468	
	469	
	470	
	471	
	472	
	473	
	474	
	475	
	476	
	477	
	478	
	479	
	480	
	481	
	482	
	483	
	484	
	485	
	486	
	487	
	488	
	489	
	490	
	491	
	492	
	493	
	494	
	495	
	496	
	497	
	498	
	499	
	500	

年から漸次少くなつてゆくのは、随 風船艇によるものでないかと考え られます。また、昭和二十年から 二十四年にかけて多大のは復 員などによるものと思われます。 この年齢別表によつて、來年度の 入学者数、成年となる者、選舉権 を得る者、その他いろいろのこと がわからります。
15 386 5 2,332
16 436 6 2,358
17 441 7 2,502
18 466 8 2,462
19 475 9 2,319
20 527 10 2,701
21 605 11 2,661
22 659 12 2,849
23 634 13 2,603
24 666 14 2,516
25 663 15 2,766
26 667 16 2,960
27 750 17 2,848
28 824 18 3,006

29	835	19	2.762
30	810	20	2.187
31	805	21	2.216
32	898	22	3.785
33	982	23	3.554
34	1.014	24	3.776
35	1.143	25	3.306
36	1.138	26	3.006
37	1.063	27	2.812
38	1.071	28	2.568
39	1.147	29	2.408
40	1.299	30	703
41	1.410	計	130.238

下川西地区の卷

花井をもつて岸川村を、川嶋、森崎、脇川新田をもつて川李村をうくら、同三千四年十月両村合併して下川西村となり、風雪五十有余年を経て昨年十一月一日長岡市に倉庫したのであります。

学校めぐり

西片員小學核

教育目標

火災を防ぎ
やすがく

個例の長岡繁な
近づき、仁和寺
や花火などに美
やかな催し物が
たくさんあります
す。こういうと
きに欠事が起ら
る次のことをよく生

